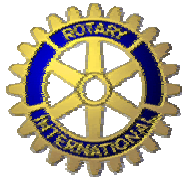




Lend a Hand 「手を貸そう」
2003-2004 年度国際ロータリーのテーマ

RI 会長 ジョナサン B. マジアア
第 2640 地区ガバナー 前窪貴志



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1362 回例会 16 年 6 月 28 日(月)

於 海南商工会議所 4F 18:30 ~

1. 開会点鐘 会長 田中丈士
2. 国歌斉唱 「君が代」
3. ロータリーソング 「それでこそロータリー」
4. 出席報告

会員総数 73 名 出席者数 53 名 出席免除会員 2 名
出席率 74.65% 前回修正出席率 70.42%

5. 会長スピーチ 会長 田中丈士



今晩は、2003 年 ~ 2004 年度の最終例会となりました。1 年前を思い出します時に不安だけが先行する船出で有りましたが、こうして大過なく最終例会を迎えられましたのも会員一同の厚い友情による御協力をいただきました結果で有ると思っております。

まずは、心より厚く御礼申し上げます。本年度 RI のテーマで有ります「手を貸そう」を合言葉に、各委員会活動につきましては精力的に御協力をいただきまして、十分に成果を修める事が出来たと思っております。今一度、1 年間を振り返ります時に、今年度最大のイベントで有りました。国際ロータリー大阪世界大会には過去にない 37 名と言う多数の御参加をいただきました。又、他国との双子クラブに関しましては、台湾彰化東南ロータリークラブへの友好訪問そして、6 月には当クラブへの来訪が有りプロジェクトとして十分に友好を深め得たと思っております。又、プログラムでは海南市長はじめ国会議員 3 名の卓話と経済界等、過去にない充実したプログラムを組んでいただき、しかも最後には 2640 地区前窪ガバナーの卓話で締めくくっていただきました。今年度、私の挙げました親睦活動と社会奉仕活動にも、各委員会の皆さんの御協力によりまして、十分な成果を挙げさせていただきました。こうして振り返りますと数々と思いが浮かんでまいりますが、私個人と致しましては、何分にも資質に欠ける事ゆえに配慮が足りなかった点十分に

反省を致しております。ただ、1 年間例会を欠席する事なく務め得た事には自分自身で驚いている次第で有ります。ひとつ残念な事は去る 5 月にメンバーで有ります柳瀬恵司君より退会届が出されまして慰留致しましたが、意志が固く 6 月の理事会で承認を致しました。又、病氣療養中の田岡啓一君につき本日臨時理事会を開きまして、名誉会員に推挙致しました。今年度会員数 71 名で終る事になりました。

ロータリーは実践哲学で有ると言われております。「学んで習わざれば即ち暗し習って学ばざれば即ち危し」と有ります。学ぶとは、理念を身につける事であり、習うとは、これを実践する事で有ります。理念だけ判っていても実践が伴わなければ、真のロータリアンとは言えないと言われております。ロータリアンとして一歩でも近づきたいもので有ります。可愛い子には、旅をさせと言う諺が有りますが、私自身この 1 年間人生の旅をさせていただきました。この旅を無にする事なく、これからの人生の肥しとしてまいりたいと思っております。理事役員の方皆さん又、事務局の橋本さん 1 年間本当に御協力いただきまして有難う御座いました。会員の皆さんには、微力なる私に御指導、御協力をいただきまして会長職を大過なく務めさせていただきました事にただただ感謝するばかりで有ります。有難うございました。私にいただきました御交情に倍して次年度、上中会長にも御協力いただきますようお願い致しまして、私の最後のスピーチと致します。1 年間御協力ありがとうございました。

6. 次回例会

平成 16 年 7 月 5 日(月) 19:00 ~

海南商工会議所 4F

7. 閉会点鐘

*** ニコニコ・BOX ***

- | | |
|-------|--|
| 中村文雄君 | 1 年間お世話になりました。 |
| 上中嗣郎君 | 本年度役員の皆様、ご苦勞様でした。 |
| 岩井克次君 | 〃 |
| 山名正一君 | 本年度役員の皆様ご苦勞様でした。特に女性初の S A A 瀬藤さんお疲れさまでした。 |
| 田中丈士君 | 1 年間お世話になりました。 |

四つのテスト

真実かどうか 好意と友情を深められるか
みんなに公平か みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 田中丈士 幹事: 宮田貞三 SAA: 瀬藤友子

宮田貞三君 どうもありがとうございました。
吉田昌生君 " "
瀬藤友子君 " "



ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS

ロータリーの友



2004-05 年度、国際ロータリー会長
グレン E. エステス シニア
親愛なる同僚ロータリアンの皆さま。

100 年に及ぶロータリーの親睦と奉仕には、祝うに足る十分な理由があり、100 周年にあたる私たちの 2004-05 年度に、私は、全ロータリアンに向かって一緒にロータリーを祝おうとお願いしたいのです。

私たちは、世界の子供たちや今後生まれてくるすべての子供たちへの贈り物として、ポリオのない世界を実現するという大きな成功を祝うことになりま。世界 166 개국で 120 万人の会員が奉仕するという一世紀にわたる成長と拡大を祝い、そして、私たちを奉仕へと駆り立てて献身しようと絶えず奮い立たせる、ロータリアンの心温まる親睦を祝うのです。

私は、ロータリアンの皆さまに、過去の成功の自己満足ではなく、現在の困難への新たな危機感を持って、ロータリーを祝おうと呼びかけております。何十年にもわたる奉仕によって、私たちは、自然災害と新たな恐ろしい病や残忍な紛争に取り巻かれた世界において、人類が必要とすることの重大さを知らされました。私たちは何百万もの読み書きのできない人々や技能を備えていない人々が、容赦ない貧困の悪循環に掛かって抜け出せないでいることを知っています。私たちは、医師や病院があまりにも少なすぎる場所に、苦しむ人々が存在するのを目にしてきました。また、食料や水などの基本的な必需品に手が届かない人々が、あまりに多くいることを認識しています。ロータリーを祝う最善の方途の一つは、私たちの 100 年の経験の重みを十分に生かして、それらの莫大な人道的需要に取り組むことでしょう。まず第一に、超我の奉仕を据えることで、ロータリーを祝おうではありませんか。国際親善奨学生、ローターアクター、インターアクター、青少年交換学生、GSE チーム・メンバー、その他私たちの人道的活動によって生活が改善された何千もの人々など、私は、皆さまがこの祝賀の心を、ロータリー家族全体とロータリーによって感動を与えられたすべての人々と分かち合われるよう望みます。また、私たちが奉仕する地域社会に、私たちと共に祝ってもらおうと呼びかけましょう。100 周年社会奉仕プロジェクトは、ロータリー 100 周年を地元で広報し、世界中の何千もの地域社会で、100 周年を未永く記憶に残るものとするまたとない機会です。ロータリー 100 周年にまつわる前向きな広報は、間違いなく会員候補者の間でロータリーに対する認識と関心を高め、

2004-05 年度を会員を増強するに最適なものとするでしょう。また、私たちは、ここ数年来の退会防止活動を継続するのに、クラブ・プロジェクトに現在の会員を積極的に巻き込み、「ロータリー家族」委員会を維持し続け、クラブ内に気配りと思いやりのある環境を推進しなければなりません。私たちは、ロータリーの最初の 100 年の奉仕にとって、安定した成長を続ける会員組織がいかに重要であるか、目にしてきました。活動的で献身的なロータリアンの退会を防止し、その数を増やして、私たちの将来を安定したものにするため、あらゆる努力をしましょう。100 年は重要な礎石であり、そこに到達した団体はほとんどありません。このことは、ロータリーが正しい行いをしていること、ロータリー奉仕に対する需要がいまだ大きいことを示しています。私たちの成功には、数多くの「秘密」があります。それは、週例会に由来する親睦と共通の大義、それに世界中に向けて扉と心を開く国際性であり、私たちの誰もが、自分ひとりで行うよりはるかに多くの事柄を達成させてくれる構造です。しかしながら、最大の強みは、ロータリアンが新しい挑戦事項に取り組むにあたって抱き、最後に問題が解決されるまで持続する熱意なのです。私たちは、ポリオ撲滅において、また、私たちが奉仕する各地域社会において、他の何千もの方法でそれを実践しています。シカゴの鉦山技師の事務所で 1905 年に始まったロータリーですが、初期の頃には、将来の見通しはほとんど立っていませんでした。凍てついた 2 月の夜、そこに集った 4 人の男性のうち誰一人として、100 年後に 31,000 ものクラブが会合を開くとはもちろんのこと、その会合が定期的に行われることになるとは、予想だにしていませんでした。ポール・ハリス、シルベスター・シール、ガスターバス・ローア、ハイラム・ショーレーは、明らかに、自分たちが最初の奉仕クラブを形成し、20 世紀を通して他のこれほど多くの人々の心と魂を掴むことになる運動に着手しているとは、思いもしていませんでした。初期の創立者たちのように、ロータリアンは、自分たちの行動がどれほど建設的な影響を与えるのか、いつもわきまえているわけではありません。しかし、100 年にわたる奉仕は、私たちが世界で善行をなす計り知れない可能性を明確に示してきました。今日、国際ロータリーは、世界で最も影響力と行動力を有する非政府団体の 1 つとして、奉仕の第二世紀に入る用意が整っています。私たちのポリオ・プラス・プログラム、平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センター、国際人道的活動、そして世界中で数え切れないほどの卓越したクラブと地区のプロジェクトは、より良いより平和な世界を達成するためのロータリーの貢献を示しています。ロータリーの可能性に対する認識を高め、新しい挑戦事項に取り組み、それらが達成されるまでやりぬく心構えをして、奉仕の第二世紀に入ろうではありませんか。私たちのクラブで、職業で、地域社会で、そして私たちの世界で、新たに奉仕に献身して、ロータリーを祝おうではありませんか。